

事例 8 山口県徳地町

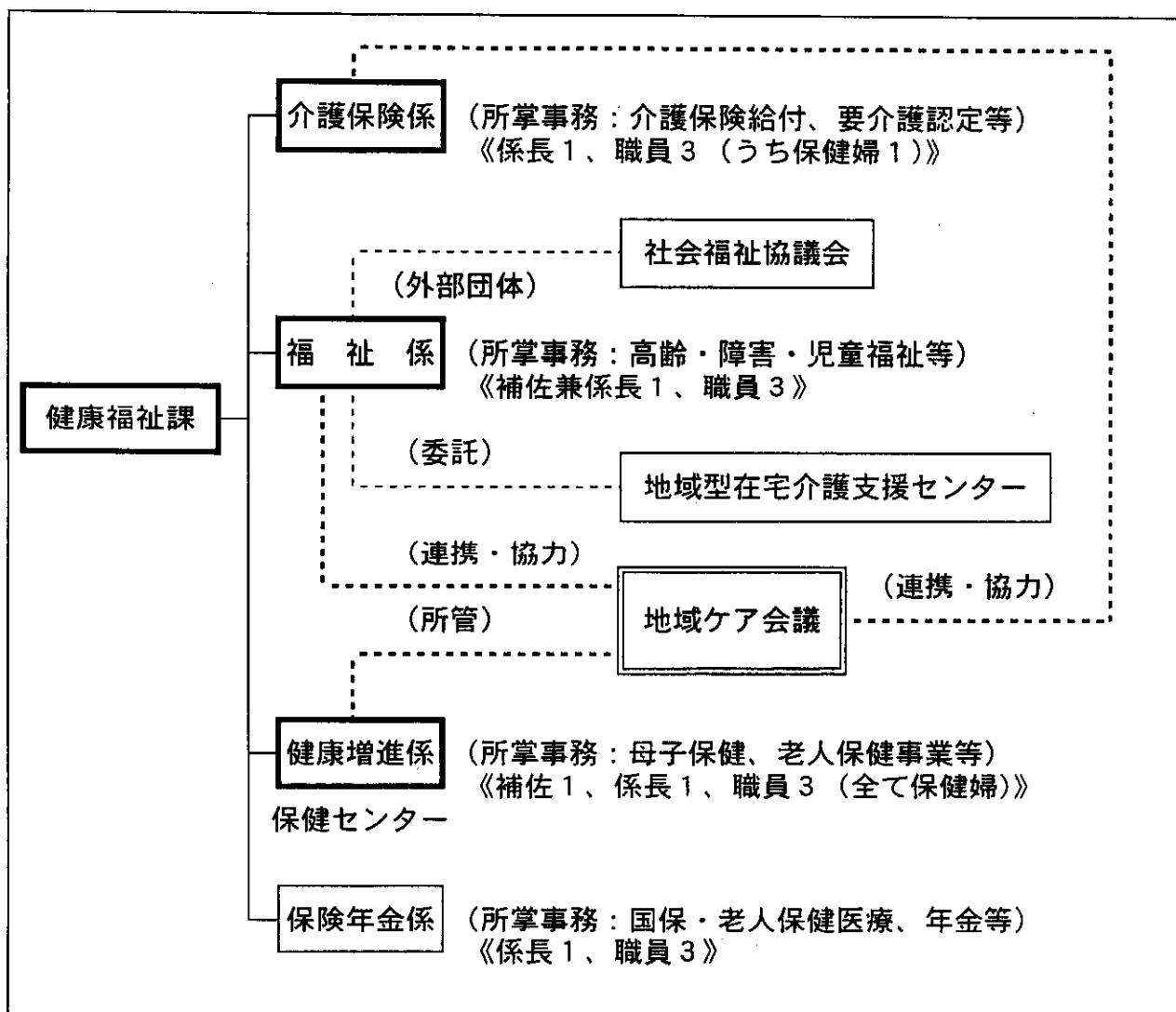
人 口	8,681 人
高齢者数	3,079 人
高齢化率	35.47%
担当部署	健康福祉課健康増進係、福祉係

1. 市町村の概況

市町村の沿革概要	<p>徳地町は町村合併促進法に基づき昭和30年に5か村の合併により誕生した一郡一町の町である。山口県のほぼ中央に位置し、北に中国山脈を背負い、南は瀬戸内海沿岸に続く地域にあり、総面積(290.35km²)の88%を山林が占めており、気候は内陸山間部の気候域から瀬戸内海沿岸の気候域と地域差がみられる。</p> <p>昭和30年に19,336人だった人口は、平成13年には8,681人まで減少し、高齢化率も35.5%となり高齢化と過疎がすすんでる。</p> <p>このような状況の中、早い時期からの生活習慣病の予防対策を積極的に進めるとともに、高齢者が地域でいきいきとした生活ができるよう支援することで、要介護状態になることを少しでも遅らせることができるよう、総合的、効果的な保健福祉サービス提供の体制整備に努めている。</p>									
	人口	8,681人			高齢者数(高齢化率)	3,079人(35.5%)				
世帯数	65歳未満の者のみの世帯			65歳以上の者のいる世帯						
	990			単独世帯	65歳以上夫婦のみの世帯			その他		
				432	452			1,113		
要介護認定(申請)者数	申請中	非該当	要支援	要介護1	2	3	4	5	合計	
			53	125	77	53	49	59	416	
社会資源状況	指定居宅サービス事業所 (か所数)	訪問看護 (1)	訪問介護 (2) *1	通所介護 (2) *1	*隣接市にあり町民が比較的多く利用している事業所					
	指定居宅介護支援事業所 (か所数)	通所リハ (0)								
	保健センター 在宅介護支援センター (か所数)	短期入所系 (1)								
		その他 ()								
	指定居宅介護支援事業所 (か所数)	3か所								
	保健センター 在宅介護支援センター (か所数)	保健センター (1) 在宅介護支援センター (1) ※保健福祉センターなど、保健・福祉が一体となった施設があれば、記入して下さい。								
	介護予防事業の拠点となりうる場 (公的施設以外も含む) (か所数)	1. まめに暮らそう会 (14) 2. 湯うにしよう会 (1)								
	介護予防事業の担い手となりうる組織・団体 (組織・団体数・人員数)	1. まめに暮らそう会 →社会福祉法人徳地町社会福祉協議会 (6) →有限会社 ヨシヤ (14) 2. 湯うにしよう会 →社会福祉法人 佐波福祉会 (52) (パート的雇用含む)								

※データについては、できるだけ直近のものをお願いします。

2. 市町村の高齢者保健福祉行政の組織図



- ※1 職員配置状況や所掌事務等についてもご記入願います。
- ※2 市町村直轄以外の在宅介護支援センター等についても組織図に書き込んでください。
- ※3 地域ケア会議等についても組織図に書き込んでください。

3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」に関連(類似)する事業がありましたか?</p>	<p>(○) 関連(類似)事業があった。→問2～問4へ () 関連(類似)事業はなかった →問5へ</p>
<p>(問2) 実施していた事業は、どのような根拠に基づき、どの部局が所管していた事業ですか? また、その事業内容についてもご記入下さい。</p> <p>※既存資料で、事業内容等わかるものがあれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業実施の根拠(国庫補助事業、県単独助成事業)、 所管部局、 事業内容(事業名、事業目的、対象者、実施回数、スタッフ等)</p> <p>老人保健事業B型機能訓練事業(国庫補助事業) 所管部局——健康増進係(保健センター) 事業内容 事業名：B型機能訓練「まめに暮らそう会」 事業目的：「閉じこもり」を防止し、日常生活活動の維持向上を図り寝たきりや痴呆の予防につなげる。 対象者：デイサービスセンターや保健センター等保健福祉サービス機関より遠隔にあり、平素保健福祉サービスを受ける機会の少ない地区の、おおむね65歳以上の虚弱者(Jランク程度の人) 実施回数：3会場で各2回/月 スタッフ：保健センター(嘱託看護婦、保健婦) 社会福祉協議会職員、ボランティア (12年度以降委託での実施を考慮し、人材育成も兼ね共催実施とした。)</p> <p>*詳細については(添付資料-1)のとおり</p>
<p>(問3) 上記事業の効果測定(評価)を行いましたか?</p>	<p>() 行った (○) 行っていない ↓ (具体的方法)</p>

3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問4) 従来の事業を「介護予防事業」という形で見直したり、また新たな施策を企画することになった経緯について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心となった部局はどこか？ ・ 何がきっかけとなり、どのような判断をしたのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進係（保健センター） ・ 福祉係 ・ B型機能訓練事業として「まめに暮らそう会」を実施している間に、参加者や地域住民、町議会議員等より好評を得るようになっていた。 折しも、介護保険の施行に向け介護予防の大切さが言われるようになり、「まめに暮らそう会」が介護予防事業として最適と認識され、全町的に実施することとなった 合わせて、施行前の準備期間中に行った介護認定で、従来のデイサービス参加者の中から介護認定非該当となる者が多く、対象者や関係者間に不安感が生まれた。 過疎と高齢化のすすんだ本町において介護保険認定者以外の高齢者のための通所サービスが、介護予防の面からぜひ必要と考え、生きがい対応型通所サービス「湯うにしよう会」を実施する運びとなった。
<p>(問5) (問1)で、関連(類似)事業がなかったと答えた市町村にお聞きします。 今般、「介護予防事業」に取り組もうとしたきっかけは何ですか？</p>	

4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」の企画立案体制について下記のような点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場を利用し、どのような機関・団体等と協議したのか？ ・学識経験者や現場の担い手などの意見をどのように採り入れたか？ ・高齢者やその家族、地域住民等の参加する機会があったのか？ ・どの部局が中心となって企画し、他の部局との協力体制は、どうであったのか？ 	<p>1) 「まめに暮らそう会」の企画立案について 保健センター（健康増進係）が中心になり、11年度実施経験から得られたノウハウをもとに、介護保険係や福祉係、健康福祉センター（保健所）と協議するとともに、対象地域の高齢者、民生委員、自治会長、実施予定会場管理者等と相談の上で企画立案した。 また、看護職を有す民間事業者の導入、複数事業者への委託を考慮し、交渉した。</p> <p>2) 「湯うにしよう会」の企画立案について 福祉係が中心になり、介護保険係や保健センターと協議の上で企画立案し、民間事業者への委託を考え交渉した。</p> <p>3) 「まめに暮らそう会」と「湯うにしよう会」の調整 保健センターが中心となり、介護保険係及び福祉係と協議し、対象者の設定や参加費（利用料）、内容、住民への周知、参加申し込み手順等を決定した。 また、保健センターが中心となり両方のサービスを一括したチラシを作成し、住民への周知や関係機関へのPRに努めた。</p>
<p>(問2) 「介護予防事業」を企画する際、下記のような検討事項があったと思います。 貴市町村での検討事項と検討内容、その結果について記入して下さい。</p> <p>(検討事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをどのように把握するか？ (ニーズ把握の方法) ・事業対象者の選定方法はどうか？ ・事業に従事する人材をどのように確保するか？ ・既存の設備の利用が可能か？ ・新たな設備整備が必要か？ ・どの部局の事業予算をどのように確保するか？ 	<p>1) 「まめに暮らそう会」の検討事項 保健センター（健康増進係）が中心になり、11年度実施によるノウハウからと地域の高齢者の状況と平素の地域活動からニーズの把握をした。 検討の結果、事業対象者の選定は、参加希望者の状態を把握し、介護保険適応が望ましい場合は介護保険の申請をすすめ、それ以外を対象としている。人材は、看護職を含むことを委託条件として確保に努めた。会場は、対象者が参加しやすい地域にある既存の集会所等を選定したが、送迎も可能とした。椅子や机等が不足する会場には、行政から集会所へ貸し出したり、必要に応じ洋式便座を設置した。事業実施に必要な物品は、行政から委託事業者へ貸し出している。事業予算は、健康増進係が委託料として確保している。</p> <p>2) 「湯うにしよう会」の検討事項 福祉係が中心になり、従来のデイサービス実施によるノウハウからと、準備介護認定結果の状況からニーズの把握をした。事業対象者の選定は1)の場合と同様にしている。設備や必要物品、人材の確保は、委託先を通所サービス機能を持つところにするこで対応している。事業予算は、福祉係が委託料として確保している。</p>

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>〔記入項目例：事業名、事業目的、対象者、事業内容、開始時期、実施回数（週、月）、実施体制（スタッフ、研修）、事業予算・補助金、事業所管課、他課との連携（協力）体制 等〕</p> <p>1) 「まめに暮らそう会」 事業目的：閉じこもりを防止し、日常生活の維持向上を図り寝たきりや痴呆を予防する。 対象者：介護認定者を除き概ね65歳以上の虚弱者（Jランク程度）及び日中ひとり暮らし者 事業内容：健康チェック及び健康相談、体操、手工芸等 開始時期：12年4月（新規会場は12年6月） 実施回数：各会場毎に月2回 実施体制：看護婦、ホームヘルパー等 研修会は月1回の連絡会と兼ねて実施 事業予算：6,409,000円（補助金3/4） 事業所管：健康福祉課（他課との連携無し）</p> <p>2) 「湯うにしよう会」 事業目的：社会的孤立感の解消を図るとともに、心身機能の維持向上、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図る。 対象者：介護認定者を除き概ね65歳以上の高齢者 事業内容：入浴、給食、送迎サービス 開始時期：12年5月 実施回数：月2回 実施体制：運転手、ホームヘルパー等（研修会等無し） 事業予算：9,730,000円（補助金3/4） 事業所管：健康福祉課（他課との連携無し）</p> <p>*詳細については（添付資料-2）のとおり</p>
<p>(問2) 住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p>	<p>「まめに暮らそう会」と「湯うにしよう会」を一括したチラシを作成し、自治会を通じて全戸配布するとともに、事業実施状況を写真入りで広報等に掲載し、周知を図った。</p> <p>また、民生委員の集会や地域ケア会議において説明し、事業の理解と参加の推進を呼びかけるとともに、閉じこもり傾向にある高齢者には、訪問等で積極的に参加（利用）を働きかけた。</p> <p>*詳細については（添付資料-3）のとおり</p>

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問3) 「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>〔記入項目例：事業名、事業費 年間実施回数 年間利用者数(実人数、延べ人数)〕</p> <p>※1年未満の事業の実施回数、利用者数については、実施期間内での実績を記入して下さい。</p> <p>1)「まめに暮らそう会」(12年度実績) 事業費 : 委託料 6,409,000円 年間実施回数 : 230回 年間利用者数 : 実人数 219人 延べ人数 2,420人</p> <p>2)「湯うにしよう会」(12年度実績) 事業費 : 委託料 9,730,000円 年間実施回数 : 168回 年間利用者数 : 実人数 160人 延べ人数 2,134人</p> <p>*詳細については(添付資料-4)のとおり</p>
<p>(問4) 現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<p>1)「まめに暮らそう会」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 虚弱高齢者や一人暮らしの高齢者が、身近な仲間が集まる(出かける)場ができ、楽しく語らうことにより閉じこもりが解消されている点 2. 血圧測定や健康相談が受けられる点 3. 事業者と保健センター職員との連絡会(研修会)を実施していることで、スタッフのレベルアップが図られるとともに、ケース連絡により、より適切なサービスの提供(適時に介護保険導入、必要時訪問指導)が図られている点 <p>2)「湯うにしよう会」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「利用者自身できる事はする」という習慣が身に付き、自立生活の助長が図られた点 2. 一日ゆっくりくつろいだり、楽しく語らうことによりコミュニケーションが図られ、社会的孤立感が解消されている点

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問5) うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期欠席者について、関係者間で情報交換するとともに、必要に応じ訪問等により状況を把握し、障害となっていることや問題点があればその解消に努め、参加を促している。 ・ 地域ケア会議において、実施目的や実施内容についての理解を得るとともに、実施状況や問題点等を報告することにより、在宅ケア体制全般の向上を図っている。
<p>(問6) 今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<p>今後の課題：男性の参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的や参加の必要性の理解が十分なされていないため、遊びに行くものと受け止められている。 ・ 女性の参加者が多いため、男性向きの内容となりにくい。 ・ 実施事業者の資質がまだ十分とはいえない。
<p>(問7) 現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報等により、目的や必要性をPRする。 ・ 参加者の希望により、複数のメニューの中から選べる体制づくりを推進する。 ・ 実施事業者の研修を実施する。

6. 「介護予防事業」の評価について

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>(○) 行っている。→②へ * 「まめに暮らそう会」 についてのみ実施</p> <p>() 行っていない。</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>※「事業ごとの評価」を行っている評価の資料があれば、添付して下さい。</p>	<p>・ 13年度に、「まめに暮らそう会」の参加者に対し、保健センター職員により、「健康度評価のための質問票（B表）」をもとに、語句を一部変更し、健康度自己評価項目を追加した質問票を用いて、参加者の生活機能の評価を試みた。</p> <p>評価は、東京都老人総合研究所が実施した研究結果との比較により、参加者個人及び参加者全体の平均得点の評価と、得点の経年評価を行う予定としている。</p> <p>* 詳細については（添付資料－5）のとおり</p>
<p>(問2) 「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	<p>・ 費用対効果については評価していない。</p> <p>・ 費用対効果の評価は、老人医療費や介護保険費等かなり複雑な要素があるため、実施は困難と思われるが、事業効果を評価することは、介護予防事業参加者（利用者）の動向や介護認定者の動向等の分析により可能と考えるので、今後も実施する予定である。</p>
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	

平成11年度 徳地町B型機能訓練(まめに暮らそう会)開催要領

1. 事業目的 虚弱老人等(日常生活自立判定基準「J」ランクの者)は、行動が消極的になりがちなことから、寝たきりや痴呆に移行しやすい状況にある。そこで、この虚弱老人等を対象に、積極的に社会的参加を促し「閉じこもり」を防止し、日常生活活動の維持向上を図り寝たきりや痴呆の予防につなげることを目的に、本事業を実施する。
2. 実施主体 徳地町、徳地町社会福祉協議会
3. 実施場所 柚野・串地区の公民館や集会所等で各地区2か所
4. 対象者 柚野・串地区のおおむね65歳以上の虚弱者(Jランクの人)
5. 内 容
 - ・健康チェック(血圧測定等)
 - ・体操、レクリエーション、手工芸等
6. 実施回数 各会場で2回/月。 2.5時間程度/回
 - *希望により、時間の延長も可
 - *このうち1か所は、試行的に4回/月実施
7. 来所方法 原則として参加者が来所。やむを得ない事情がある時は送迎可
8. 参加料 無料。ただし、お茶代として若干徴収(100円程度)
9. 参加申込み 随時、所定の参加申込書にて保健センター又は社会福祉協議会へ申し込む
10. 従事者 徳地町保健センター職員(看護職)、徳地町社会福祉協議会職員、ボランティア

参加してみませんか？ますます元気に過ごしていただくために

町では、介護保険の該当にならない方の元気づくりのために、『湯うにしょう会』と『まめに暮らそう会』を実施します（事業所委託）。希望される方は両方参加することができます。

生きがい対処通所サービス

湯うにしょう会

参加できる方 65歳以上で介護保険に該当しない方

会場 老人福祉センター『長寿苑』（島地）

内容 入浴、食事、交流等

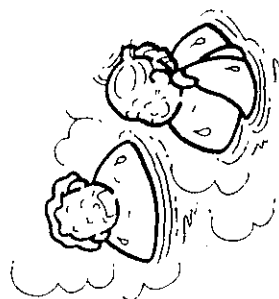
参加回数 月2回（5月中旬から開始予定）

参加費 1回1,000円（昼食代他）

送迎 最寄りのバス停、または指定地から送迎します

申込み 準備の都合上、5月10日までに役場健康福祉課または各支所へ別添申込書を提出してください。日程等は後日お知らせします。今後も、随時申込みを受け付けます。

お問い合わせ
役場健康福祉課 福祉係
電話 52-1121
有線 2341



B型機能訓練事業

まめに暮らそう会

参加できる方 おおむね65歳以上の虚弱な方や日中ひとりのお一人のふれあいがない方がほとんどの方で、介護保険に該当しない方

会場：地区

八坂公民館	大字八坂、大字三谷、川口上・下
下庄集会所	大字船路
引谷生活改善センター	大字引谷（川口上・下は除く）

内容 血圧測定等健康チェック、頭の体操、からだの体操、その他レクリエーション

参加回数 月2回（午後1時半～3時半）6月から開始予定

参加費 1回200円（お菓子代他）

送迎 歩いたりして来られる方は、自分で来てください。「会場まで遠いので行けない」という方のみ、家の近くまで送迎します。

申込み 準備の都合上、5月10日までに保健センター、または各支所へ別添申込書を提出してください。日程等は後日お知らせします。今後も、随時申込みを受け付けます。

お問い合わせ
保健センター
電話 52-1114
有線 2345

（添付資料-3）

H12 実績

表 「まめに暮らそう会」参加状況

会場名	実数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
20 才谷集会所	19	-	-	-	-	9	11	7	8	8	7	7	6	4	8	8	9	8	8	5	8	6	9	8	10
19 岸見研修センター	16	-	-	-	-	15	12	0	11	10	9	9	11	11	10	10	8	8	8	-	11	11	11	11	10
20 八坂公民館	16	-	-	-	-	7	5	5	6	5	5	4	4	5	4	7	7	7	7	7	1	8	11	11	12
20 下庄集会所	14	-	-	-	-	11	10	8	7	5	8	6	8	5	6	6	7	6	8	8	4	6	6	7	6
20 引谷生活改善センター	19	-	-	-	-	9	13	12	10	14	10	7	14	15	13	13	12	9	14	12	15	12	13	11	14
20 宮の前集会所	14	-	-	-	-	3	0	2	5	5	2	3	4	3	3	4	3	4	3	5	5	6	6	4	8
20 藤本老人いこいの家	16	-	-	-	-	9	12	9	12	11	11	11	12	10	13	12	11	12	11	12	11	10	7	12	11
23 柚野公民館	30	15	7	3	13	10	10	8	8	8	10	5	4	5	5	8	7	6	-	13	11	12	9	8	10
24 河内公民館	29	25	24	18	19	20	23	21	16	17	16	19	21	19	18	16	20	19	19	19	20	18	18	19	20
24 岸公民館	23	18	14	13	18	17	18	19	17	16	15	13	17	8	16	15	14	14	17	16	16	16	14	18	15
20 山村開発センター	23	-	-	-	-	18	16	15	12	7	13	7	9	11	12	11	12	14	14	11	13	10	11	9	15
230 合	219	58	45	34	50	128	130	106	112	106	106	91	110	96	108	111	109	104	100	111	117	121	123	115	129
230 平均参加者数	-	19.3	15.0	11.3	16.7	11.6	11.8	9.6	10.2	9.6	9.6	8.3	10.0	8.7	9.8	10.1	9.9	9.5	11.1	11.0	11.0	11.0	11.2	10.5	11.7

↑

実施回数

参加者数(集)

↑

154
188
132
135
242
81
219
195
464
372
238
2420

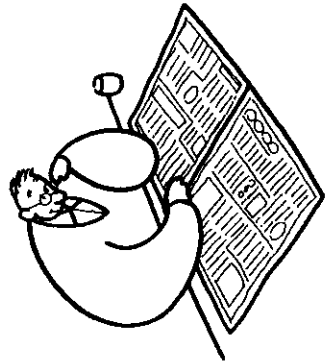
平成 年 月 日

氏名			
性別	男・女	年齢	歳

いつも元気に「まめに暮らそう会」にご参加いただき、嬉しく思っております。
 今回、「まめに暮らそう会」が皆さんの元気づくりにとどの位役立っているのかを知りたいと考え、このアンケートをすることにいたしました。
 皆さんの日頃の生活について、若干立ち入ったことをお聞きしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

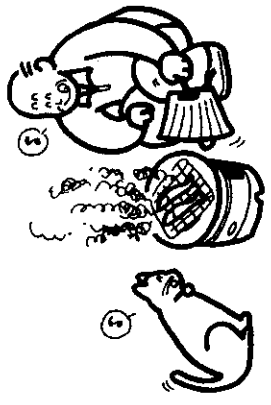
平成13年11月 徳地町保健センター

☆あてはまるものに○を付けてください。



- 1 あなたの今の健康状態は？
 - ① とても健康だと思う
 - ② 健康な方だと思う
 - ③ ふつう
 - ④ 健康でない
- 2 友達の家を訪ねることがありますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 3 家族や友達の相談にのることがありますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 4 病人を見舞うことができますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 5 若い人に自分から話しかけることがありますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 6 年金などの書類が書けますか
 - ① はい
 - ② いいえ

- 7 新聞を読んでいますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 8 本や雑誌を読んでいますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 9 健康についての記事や番組に関心がありますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 10 バスなどを使って一人で外出できますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 11 日用品の買い物ができますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 12 自分の食事を用意できますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 13 請求書の支払いができますか
 - ① はい
 - ② いいえ
- 14 農協の預金や郵便貯金などの出し入れができますか
 - ① はい
 - ② いいえ



(添付資料-5)

ご協力ありがとうございました。

	人数	平均 年齢	生活機能得点				
			手段的 自立	知的 能動性	社会的 役割	合計	
男性	全体	12	81.67	4.42	2.92	3.50	10.83
女性	全体	161	77.34	4.77	3.37	3.58	11.72
	65-69	9	67.67	5.00	3.56	3.89	12.44
	70-74	42	72.10	4.98	3.43	3.67	12.07
	75-79	52	76.73	4.75	3.31	3.65	11.71
	80-84	41	81.83	4.66	3.41	3.46	11.54
	85-90	17	86.47	4.47	3.24	3.24	10.94

	人数	平均 年齢	主観的健康観(実数)				主観的健康観(割合)				
			健康	健康な 方	普通	不健康	健康	健康な 方	普通	不健康	
男性	全体	12	81.67	3	5	4	0	25.0%	41.7%	33.3%	0.0%
女性	全体	161	77.34	12	49	78	22	7.5%	30.4%	48.4%	13.7%
	65-69	9	67.67	0	3	5	1	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%
	70-74	42	72.10	3	13	23	3	7.1%	31.0%	54.8%	7.1%
	75-79	52	76.73	6	11	28	7	11.5%	21.2%	53.8%	13.5%
	80-84	41	81.83	2	13	19	7	4.9%	31.7%	46.3%	17.1%
	85-90	17	86.47	1	9	3	4	5.9%	52.9%	17.6%	23.5%

(平成13年11月実施)